



平成24年3月26日

7号北神戸線の4料金所に自動收受機を導入します
～平成24年4月2日から試行運用を開始～

阪神高速道路株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役会長兼社長：大橋光博）は、ETCご利用のお客さまが概ね9割に達したことを踏まえ、料金收受業務の効率化を図る観点から、平成24年4月2日より7号北神戸線の4料金所に自動收受機を導入し、試行期間を経たうえで料金所の無人運用を開始することとしましたのでお知らせします。

1. 実施料金所／時期

・実施料金所

〔7号北神戸線〕

有馬口、西宮山口南（西行）、西宮山口南（東行）、西宮山口東の各料金所

・実施時期

平成24年4月2日～ 自動收受機試行運用開始（試行期間中は料金所は有人です）

平成24年8月 ～ 終日無人運用開始（予定）

*自動收受機の試行運用は4カ月程度実施する予定ですが、運用状況により試行期間を延長等する場合があります。

2. その他

・7号北神戸線の4料金所では、第1レーンの料金所ブース内に自動收受機を設置します。自動收受機とは、通行料金の支払手段に応じて音声及び画面表示にて通行料金を案内し、多様な手段での支払いが可能な料金精算機です。阪神高速では8号京都線で既に運用中です。

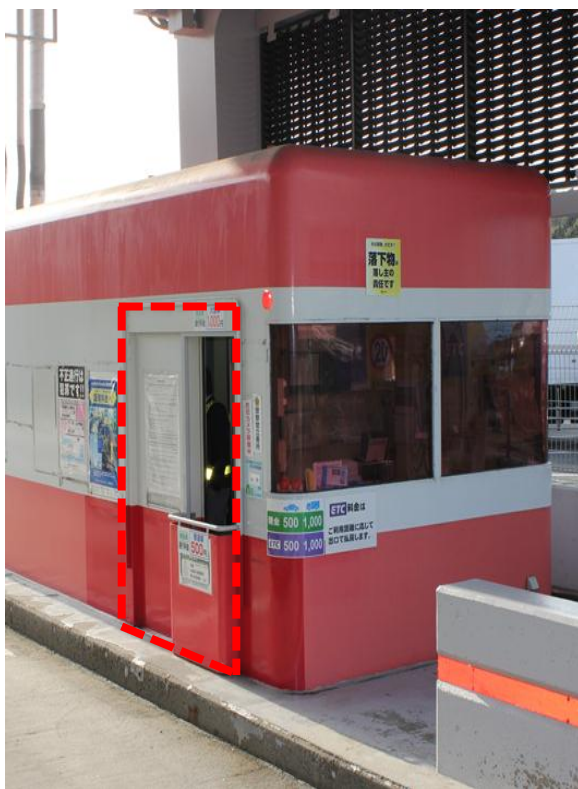
・自動收受機が設置される料金所では、当該料金所を管轄する営業所に監視員を配置のうえ、24時間体制で遠隔監視を行います。遠隔監視で対応できない故障や事故等のトラブル発生時は、営業所等から「対応班」が現場に出動し処理にあたります。

【関連資料】

- ・自動收受機の概要等について（別紙）

1. 自動收受機の概要

- 自動收受機とは、通行料金の支払手段に応じて、音声及び画面表示にて通行料金を案内し、現金（紙幣、硬貨）、ETCカードなど多様な支払い方法が可能な料金精算機です。
- 新設する自動收受機は、第1レーン（進行方向に向かって右側）料金所ブースの料金所スタッフ收受位置に埋め込みます。この位置への設置は全国の高速道路で初めての例となります。



設置前
(点線部が料金所スタッフ收受位置)



設置後【有馬口料金所】
(点線部が新設の自動收受機)

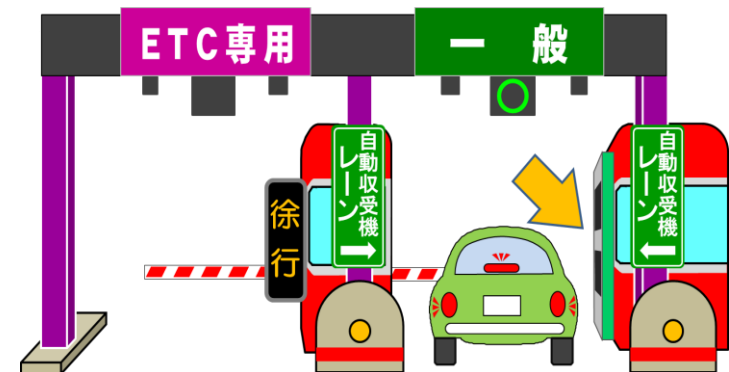
1. 自動收受機の概要

- 北神戸線の4料金所を管理する営業所では24時間体制で遠隔監視を実施し、モニター画面を通して遠隔監視員がお客さま対応を行います。また、現地での対応が必要な場合は営業所等から「対応班」が現場に出動し処理にあたります。
- 自動收受機設置レーンは、『一般』または『ETC／一般』で運用します。『ETC／一般』をETC車で利用される場合は20km/h以下でレーンに進入し、開閉バーが開いたことを確認して走行してください。



自動收受機接客部(イメージ)

料金所のレーン運用について



- 自動收受機で運用するレーンは **一般** または、**ETC一般** レーンで運用します。**ETC一般** レーンの場合は、ETC無線走行でもご利用頂けますが、必ず20km/h以下でレーンに進入し、前方の開閉バーが開いた事を確認して走行してください。

* **ETC一般** は有馬口料金所を予定